

岸和田地区 保護司会だより

【発行】 岸和田地区保護司会 岸和田市野田町1丁目5番5号 岸和田市立福祉総合センター2階
新田 賢一 TEL 072-438-6660
【発行責任者】 根来 亮裕 【印刷所】 シメノ印刷工業株式会社

2024（令和6）年



長野県光前寺「しだれ桜」（夫空に広がるしだれ桜に魅了されました）井上富美子撮影

樋川 監 口 事	藤本 一 善	根来 亮 裕	田中 隆 治	坂井 和 博	阪井 正 明	柿本 早 月	奥田 泰 弘	大家 久 良	岩崎 郁 代	池内 矢 一	理事 青野 恵 子	会 計 寺田 博	書記 高瀬 伸 一	副会長 金田 隆 行	会長 新田 賢 一	相談役 野久壽喜
-------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------------	----------------	-----------------	------------------	-----------------	-------------

役員

令和5年度～6年度

～ 保護司信条 ～

私たち保護司は、社会奉仕の精神をもって、

1. 公平と誠実を旨とし、過ちに陥った人たちの更生に尽くします。
1. 明るい社会を築くため、すべての人々と手を携え、犯罪や非行の予防に努めます。
1. 常に研鑽に励み、人格識見の向上に努めます。

新年度を迎えて

岸和田地区保護司会

会長 新田 賢一



新緑の候、会員の皆様には、益々ご健勝のことと存じます。

昨年の総会で会長に就任より一年が経過いたしました。例年の活動計画の実施にあわせて、会長としての活動（関係機関・団体の代表者の方々との情報交換の場など）が加わり、戸惑うこともありましたが、皆様方からは各活動に對してのご協力や、その都度の貴重なご意見をいただき、助けていただきました。厚くお礼を申し上げます。

さて、令和5年3月には第二次再犯防止推進計画が閣議決定され、その後、令和5年度版再犯防止推進白書が発行されました。それらには、これまでの取り組みを踏まえ、七つの重点課題が挙げられています。

- ①就労・住居の確保等
- ②保健医療・福祉サービスの利用の促進等
- ③学校等と連携した修学支援の実施等
- ④犯罪をした者等の特性に応じた効果的な指導の実施等
- ⑤民間協力者の活動の促進等
- ⑥地域による包摂の推進

⑦再犯防止に向けた基盤の整備等

以上のような課題の中で、私たち保護司は、各々の処遇活動を行うと同時に「社会を明るくする運動」の犯罪予防活動を通して、支援を必要とする人が地域の中で孤立することなく生活の安定が得られるよう、また再び罪を犯すことのないように全ての地域の人々に犯罪や非行の防止と更生保護についての理解を深めていただくことが大切だと思っています。そして今後も、関係機関や団体の方々に協力添えをお願いしながら、安全で安心な暮らしができる町づくりを進めていければと思っています。

一方で、本会の課題として、会員の高齢化、これからの退任増による次の担い手の確保が年々困難となつていきます。地域社会における人間関係の希薄化といった社会環境の変化がある中においても更生保護活動は途切れてはならず、危機感を持って取り組んでいかなければならぬと思っています。

本年度も様々な課題を持ちながらの活動になりますが、皆様からのご協力をよろしくお願いいたします。

総会ごあいさつ

岸和田地区更生保護女性会

会長 長田 喜代子



木々の緑が目まぶしい今日この頃、岸和田地区保護司会総会のご盛會お祝い申しあげます。

保護司会の皆様には、平素より更

ごあいさつ

岸和田地区協力雇用主会

会長 寺田 歩



令和5年4月の定例総会におきまして、石田幸浩会長の任期満了に伴い会長に選任されました寺田歩です。石田会長の後を託され不安で心許無い限りではありますが、微力ながら更生保護活動のひとつ、協力雇用主会のさらなる発

生保護女性会の活動に御支援御協力を賜り感謝申し上げます。

更生保護活動は、地味な活動であります。3団体で共に取り組んで来ている長い歴史があります。特に「社会を明るくする運動」は、犯罪・再犯防止と市民の更生保護活動の礎になつて市民にアピールとなる活動です。今後も共に運動の輪を大切とする中で、輪を繋げて広げていく社会づくりを共に目指して行きたいです。

今年度も他団体のご協力も得ながら3団体が一丸となつて更生保護活動の普及に皆様の御理解・御協力をお願い致します。

展に向け努力していく所存です。

被雇用者が就職の機会を得ることで再び犯罪や非行に陥ることを防ぎ社会復帰を手助けするものがあります。雇用しても長続きしないのが現実です。保護観察所のご指導をいただきながら、保護司会、更生保護女性会の皆様方に協力をお願いして長く働いていただく環境をつくっていききたいと思っています。又、雇用主の業種にかなり偏りがあり、被雇用者が就きたい仕事が無いのも現実で、これから新たな雇用主を探すのも必要であらうかと思われまふ。

最後になりますが、岸和田地区協力雇用主会の活動にご理解ご協力をお願いして、挨拶とさせていただきます。

表彰・感謝状の栄誉を受けられた方々
令和5年度秋の褒章に於いて、また大阪更生保護大会に於いて、次の方々が表彰・感謝状を受けられました。

藍綬褒章

メ 野 久壽喜

法務大臣表彰

坂 田 和 博

全国保護司連盟理事長表彰

阪 井 正 明
高 瀬 伸 一
根 来 慶 悟

**近畿地方更生保護委員会
委員長表彰**

井 上 富 美 子
小 山 藤 夫
杉 阪 敏 秋
田 中 明 男
前 田 順 一 郎

**近畿地方更生保護委員会
委員長感謝状（民間協力）**

石田運送株式会社

代表取締役 石 田 幸 浩

**近畿地方保護司連盟
会長表彰**

西 上 義 昭
山 本 誠

**近畿地方保護司連盟
会長感謝状（家族功労者）**

石 橋 靖 之

大阪府知事感謝状

木 岡 仁 司

**大阪保護観察所長表彰
（保護司功労）**

川 端 征 子
杉 本 哲 夫
清 水 良 和
足 田 浩 三
松 下 貴 志
丸 山 み 代

**大阪保護観察所長表彰
（永年従事）**

藤 本 一 善
本 村 博
雪 本 貴 司

**大阪府保護司会連合会
会長表彰**

青 野 恵 子

**大阪府保護司会連合会
会長感謝状（家族功労者）**

小 門 素 子

藍綬褒章を受章して

5分会 メ 野 久壽喜



昨年の5月コロナ感染も少し収まり、第2類から5類に変わり4年ぶりに通常通りの受賞式になりました。令和5年11月13日（月）東京の法務省で藍綬褒章を受章し、その後皇居で天皇陛下への拝謁を賜りました。平成11年9月25日保護司を拝命し、25年目に藍綬褒章の栄に浴することができました。これもひとえに保護司会はじめ観察所・関係機関のご指導やご協力の賜物と存じます。本当にありがとうございます。

皇居内の広場に到着し、天皇陛下への拝謁を賜るため、『春秋の間』へと案内されました。その後バス毎の受賞者の集合写真が撮影され、各自乗ってきたバスで法務省へ戻り、その後解散となりました。待ち時間もありませんでしたがスムーズな流れの中、粛々と行事が進められ感動の1日でした。

さて、保護司として25年間、保護観察61件、環境調整59件を担当させていただき、多くのことを対象者・引受人の方々から学ばせていただきました。人生一人ひとり1回の経験しかできないものですが、多くの方々から生き方を学ばせていただきました。この経験を残された今後の保護司活動に生かしていきます。皆様方ありがとうございます。感謝

いただきました。

その後決められたバスにて皇居へ、各省からのバスが一斉に

法務大臣 表彰を受けて

1分会 坂田 和博



この度、令和5年10月31日大阪更生保護大会が、大阪国際交流センターで開催され、法務大臣表彰を頂きました。誠に光栄なことでした。誠に余る思いです。これも偏に保護観察官や岸和田地区保護司会OBの諸先輩方、そして保護司会の方々のご指導とご協力の賜物だと感謝申し上げます。平成15年1月25日に保護司の委嘱を受けました。新任研修をうけているさなか当時の観察官から連絡を受け対象者の依頼が入り、「今日から2日間、新任研修を受ける身であり、どの様に対応すれば良いのか分りません。」と返答した事を覚えています。思えば20年前初めての対象者を持ち面接した時の緊張感と不安、報告書の書き方など責任の重さを感じた事を思い出します。20年



の経験で青少年から成人まで多くの対象者を受け持つ中、特に少年の中では、家族との生い立ち、環境が一番の原因ではないのかと思う事が多くありました。又、近年では再犯で対象者を担当する事も増え、今までの指導が足りなかったのかと思う事もありました。特に薬物に関する対象者が多い様に思われます。今後表彰されたことに感謝しながら皆様方のご指導をいただき更生保護活動をしてまいりたいと思います。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

第73回 “社会を明るくする運動”

内閣総理大臣メッセージ伝達式

令和5年7月6日(木)午前10時から、岸和田市役所市長公室において、更生保護3団体と永野耕平市長、関係部課長参加による、第73回“社会を明るくする運動”内閣総理大臣メッセージ伝達式を実施した。

まず“社会を明るくする運動”岸和田地区推進委員会新田賢一委員長の挨拶の後、岸田文雄内閣総理大臣のメッセージが伝達され、永野市長からご挨拶をいただいた。その後、金田隆行保護司会副会長から、今年度、市民集会の会場を南海浪切ホールに変更した経緯や、広く市民に更生保護活動に対する理解を深めるため

に、市民集会だけでなく、矯正展を同時に開催することが伝えられた。また、更生保護各団体方の意見交換会では、岸和田駅周辺落書き消しは7月21日(金)に岸城中学校の協力を得て実施することなどが話し合われ、有意義な時間となった。



生18作品、中学生24作品を審査させて頂きました。その結果、委員長賞に古川和心さん(太田小6年)と上林美晴さん(野村中3年)、市長賞に佐久間珂名さん(常盤小6年)井之上麗さん(桜台中1年)、市議会議長賞に高倉優空さん(大宮小6年)永野翔大さん(山直中3年)、教育長賞に川岸倅史さん(中央小6年)と大城夢咲さん(山直中2年)が選ばれ、令和5年9月27日に市長公室において表彰式が行われました。応募下さった皆様さんにご指導頂いた先生方に、心より御礼申し上げます。

作文コンテスト

第73回“社会を明るくする運動”の一環として、作文コンテストが実施されました。より多くの小中学生に取り組んでもらうため、学校関係者とも協議を行い、締め切り時期を再考するなどして行いました。今年度は、小学校の部門では7つの小学校から78作品、中学校部門では5中学校から1308作品の応募を頂きました。その中から各学校で選抜された小学

市民集会

令和5年度『社会を明るくする運動』市民集会は、7月8日（土）午後2時から南海浪切ホールに於いて、「2023年度少年非行・被害防止、暴走族追放強化月間」第73回「社会を明るくする運動」犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラのテーマのもと『社会を明るくする運動』岸和田地区推進委員会の主催で実施されました。

今年の市民集会は、コロナウィルスが5類に移行して、4年ぶりに制限なしの開催となりました。

第一部の式典は、新田賢一岸和田地区保護司会会長と永野耕平岸和田市長の主催者挨拶に始まり、大阪保護観察所



堺支部長・石井智之様、岸和田市議会議員・松本妙子様、大阪府岸和田警察署長・鳥居繁孝様の来賓挨拶に続き、来賓紹介主催者紹介がありました。

第二部では、薬物問題をテーマに進められました。まず更生保護3団体の有志による『そんなつもりじゃなかったのに』好奇心から「えらいこっちゃ」と題した寸劇がありました。開始早々、ちよつと無理のある制服姿とべたべたの岸和田弁に、会場は大いに盛り上がりました。一方、内容は、若者が薬物への誘惑と戦う姿が非常に切



実で、内容の濃い素晴らしい寸劇となりました。

続いて、ビデオ動画『STOP! 薬物乱用 断る勇気』を鑑賞し、その後『薬物事犯の現状について』と題して、岸和田警察署生活安全課長代理・三谷真也様の講演がありました。

最後に、岸和田地区協力雇用主会会長・寺田歩の決意表明で閉会しました。

岸城中学校の生徒たちと一緒に

令和5年7月21日（金）に岸城中学校の生徒たちと一緒に、岸和田駅周辺の落書き消しやゴミ拾い、啓発物品の配布をしました。

当日は大変暑い中、生徒たち317名、先生方31名の参加をいただきました。この活動は、「社会を明るくする運動」の犯罪予防活動の一環として実施しており、コロナ禍での一時中断はあったものの、今回で6回目となりました。いつもながら生徒たちの姿には、岸和田の次代を担う若い力が感じられ、我々地域の人達が見守っていかねければならないと改めて思いました。

今回の活動には、岸和田警察署・岸和田少年サポートセンター・岸和田地区少年補導員連絡会・岸和田少年補導員連絡会・南海岸和田駅の方々にも協力をいただきました。

また、テレビ岸和田の取材、市の広報誌「広報きしわ



だ」への掲載もありました。そして、市の廃棄物対策課地域美化担当の方からは、落書き消しに必要なペンキ等を、（株）伊藤園岸和田支店からは、麦茶を提供していただきました。ご協力に心より感謝いたします。

11月定例会 及び懇親会

隔年に実施してきました11月定例会及び懇親会を11月10日（金）午後6時から岸和田グランドホールにて会員53名出席の下開催しました。

令和5年5月8日新型コロナウイルス感染症の5類移行により、感染防止しつつも平常通りの開催としました。テーブルの席は、先の大阪



更生保護大会で受賞された方々と役員を舞台近くの席にし、他の出席者は受付時に抽選にて席を決めるという初めての試みでした。過去は部会毎に席を配しておりましたが、今回はあまり普段お話ししない人との交流も必要ではないかとの思いから抽選としました。

第一部定例会冒頭、大阪更生保護大会で受賞された方々に、表彰状・記念品の伝達を行い、長年保護司として更生保護事業にご尽力されてきたご功績を讃えました。

第二部懇親会では各々、情報や意見の交換をしながら、苦労話に花を咲かせ、終始和やかに楽しい雰囲気の中ひと時を過ごして頂きました。

会員相互の親睦と連携を図り、今後の保護司活動がより一層充実したものとなる有意義な場として続けてまいりたいと存じます。

ご参加頂いた皆様の御協力により、円滑に実施できましたことを心から感謝申し上げますと共に、今後の総務部会の活動により一層のご協力ご支援をお願いします。

泉州寮訪問

中秋も過ぎ、晩秋に差し掛かろうとする穏やかな日に、更生保護女性会の方々と共に訪問させて頂きました。

スタッフの方に温かく迎えて頂き、緊張感漂う中で始まった交流会が、直ぐに本音で語り合える和やかな空気に包まれました。

「将来の夢は？」との話題に移り、寮生の具体的なビジョンを語るその姿に、先ず心動かされました。追って、職員方の熱い心での寄り添いを改めて感じた次

新年の集い

1月13日（土）午前11時から岸和田グランドホールにおいて、恒例の新年の集いを開催致しました。

テーブル配置は各8名ずつに戻し、更生保護3団体を交互に配しました。

第一部の出し物は、和泉家笑くぼ様による落語『子は鎚』を聞いて頂き、別れた夫婦が3年目にして、夫が子供にあったことから復縁する話です。子供が夫婦仲を繋ぎとめ、二人の中を取り持つ結果となる話に笑い感動しました。

第二部の出し物は当保護司会高瀬伸一副会長も所属する公民館クラブ「ラハイ



第です。

活発な意見交換が続く中、準備していたお土産が寮生に手渡され、会が終了したのでありました。

更に、今回この様な席に参加させて頂き感じたのは、個々の偽りのない、生の声を直接聞けた事で、無能で弱い人間でもある私の方が、逆に勇気と元気を貰う結果になったのではと。

ナウクレレクラブの皆様に出演して頂きました。その演奏は本場ハワイに居る気分であり、ハワイへ行きたいと思わせて頂きました。

恒例の抽選会では、幸運にプレゼントが当たった人も当たらなかった人も今年が良き年になるように願いました。

新年の集いが漸く通常通りに開催が出来、皆様に喜んで頂けたことは本当に良かったと思います。



加古川学園 視察研修

令和6年3月8日（金）、保護司29名で加古川市にある少年院、加古川学園を参観しました。

令和元年に阪南市にある和泉学園を参観して以来、この施設参観はコロナ禍のため3年間中断していましたが、今回、加古川学園が参観を受け入れていただいたので、4年ぶりの参観が実現しました。

私は、加古川学園には3回、生活環境調整の面会に訪れていますが、訪問する先は事務所と面会室だけです。今回のように保護司会の研修で参加しますと、施設の方に



設の方に概要を説明して頂けるうえに、施設の中も見学させていただけるので、保護司活動を行う上で、大変参考になると思います。当日は、

午前9時、岸和田を貸切バスで出発し、午前中は神戸市須磨区にある須磨寺で珍しい一絃琴を鑑賞しました。その後、道の駅「みき」で昼食をとり、午後1時40分、加古川学園に到着しました。

加古川学園は、甲子園球場7つ分の敷地を持つ日本最大の少年院で、広大な敷地を生かした処遇が行われています。

また、同じ敷地内に播磨学園があり、加古川学園が長期処遇、播磨学園が短期処遇の少年院となっています。

収容定員は、加古川学園180人、播磨学園120人ですが、少子化の影響などで、収容者も減少、当日は、加古川学園約120人、播磨学園約10人が収容されていました。

この日の参観では、おもに、播磨学園の処遇区域を案内してもらいました。収容者が減少したことと使用していない一つの寮をまるごと広報施設として参観者に見てもらおうようにしており、収容少年たちが生活する様子がよくわかりました。

「百聞は一見に如かず」、自分の目で実際の現場を見る体験が、対象者の処遇等において大いに参考になると考えますので、次年度も施設参観の研修を実施していきたいと思っています。



定例会報告

感染症対策が少しずつ緩和され皆様のご協力のもと通常どおり統一研、修自主研修を開催できましたので報告させていただきます。

◆統一研修

講師 田中恭子

◎第一期

令和5年6月9日（金）

テーマ

「就労支援について」

◎第二期

令和5年9月8日（金）

テーマ

「面接について」

～ロールプレイを
取り入れて～

ロールプレイでは傾聴態度の重要性、座る位置での面接

相手が受ける印象の違いなど身をもって実感。情報交換の場となり深い学びとなりました。

◎第三期

令和5年12月8日（金）

テーマ

「刑法などの一部改正等について」

◎第四期

令和6年2月2日（金）

自由テーマ

「家族としての体験と関わり方」

一般社団法人アーツ薬物依存症家族会の酢谷宜子氏を講師として迎え体験等聞くことができました。

◆自主研修

◎第一期

令和5年5月12日（金）

テーマ

「各部会の役割について」各部会でグループ討議を行い、活発な意見交換をすることができました。

◎第二期

令和5年10月13日（金）

テーマ

「薬物依存について考える」

講師 大阪保護観察所 次長 別木 寛氏

◎第三期

令和6年3月8日（金）

施設参観（加古川学園）

◆新任保護司研修

令和5年10月13日（金）に実施しました。

この一年皆様には大変お世話になりました。これからも研修部一同協議を重ねながら、納得と充実の研修を目指してまいりますのでよろしくお願い致します。

サポーターコーナー

近畿地方更生保護委員会

三本松委員長が視察されました

令和5年6月7日（水）、近畿地方更生保護委員会の三本松篤委員長が、岸和田地区更生保護サポーターセンターを訪れ、運営状況等を視察されました。視察には、大阪保護観察所・古山正成所長、堺支部・石井智之支部長が随行されました。保護司会から、野久壽喜相談役、新田賢一会長、金田隆行副会長、田中明男企画調整保護司が応対しました。

委員長への説明資料として、今年の2月に発行したサポーターセンターだより開所10周年記念号を用意し、10年間の変遷や苦労したこと、今後の課



前列中央が三本松委員長

題などをお話しさせていただきました。委員長は1時間にわたり滞在され、我々の話を熱心に聞いていただきました。近畿地方更生保護委員会の委員長がサポーターセンターを視察されるのは極めて稀なことであり、当地区を視察先に選んでいただいたことは大変光栄なことと思います。貴重な機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。

新任保護司の紹介

9分会
柳室 孝吉

皆さんこんにちは。

柳室孝吉と申します。この度、保護司になり、皆様と共に子どもたちの未来を支えていくことを心より嬉しく思っています。

子どもたちの未来を支える使命を担い、誠実に責任感を持って職務に励んでいきます。地域の皆様や関係機関と協力し、子どもたちが安心して成長できる環境を共に築いていく覚悟です。

1年目という未熟ながらも成長していく過程で、皆様と共に学び、進化していきたいと考えています。コミュニケーションを大切にし、皆様のご意見やアドバイスをいただきながら、より良いサポーターを提供してまいります。

挑戦と困難が待ち受けるかもしれませんが、その中で経験を積みながら、子どもたちの笑顔と幸せに貢献していけるよう全力で努めていきます。皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

これから共に歩んでいけることを楽しみにしております。保護司1年目ではありますが、どうぞよろしく願いいたします。

退任保護司

（令和5年5月24日付）

池田 秋男
前田 正文

（令和6年1月24日付）

鳥居 宏次

敬弔

名誉会員で次の方々がご逝去されました。生前のご功績を偲び、謹んでお悔やみ申し上げます。

荒木 勇

（令和5年4月3日）

門田 早苗

（令和5年7月23日）

叙位

・死亡叙勲

ご生前における保護司としての多大なご功績により次の方々が叙位叙勲の榮譽に浴されました。

（令和5年2月11日付）

瑞宝単光章

（故）西上 匡夫

（令和5年7月23日付）

従八位

（故）門田 早苗



編集後記

「刑務所ラジオ」って御存知ですか。

先日、NHKにて紹介されました。

刑務所・少年院で入所者に向けて、社会復帰や再犯防止を目的として、放送されています。

内容は、入所者のメッセージや社会復帰のための情報等、様々です。一部の地域では、ラジオ局の協力を得て、普通の放送でも流れてます。

しかし、まだ限定的な取り組みであり、多くの施設で実施してもらいたいものです。